

あなたの心に“効く”くすり

ユーレイ タカトリ

からだに良い1日を。

さあ、ここると



奈良県高取町



さあ、ここと
からだに
良い1日を。

ユルリタカトリ Contents

一 脳
ゆるり、まち歩き [城下町]

3

二 脳
ふわり、天空の古城へ [高取城跡]

11

三 脳
ぶらり、ふしげな時間 [壺阪寺]

17

四 脳
もっと高取、ぶらっと巡り

19

飛鳥の都にはほど近く、豊かな自然に恵まれたこの地は古代から薬用になる動植物が豊富で、推古天皇が“くすりがり”に訪れたという記述が残されています。時代が移り変わっても生薬を大切につくり続けてきた街、高取。いまなお残る薬問屋や街並みからは、こことからだに静かに効く力がこんこんと湧き出ているようです。



奈良県 高取町

ゆるり、ぶらりとまち歩き。
おなかが空いたら、何か食べよう。
ふとした会話に、心もほぐれる。
満たされたら、またぶらぶらり。
しなければいけないこと、何にもない。
ゆつたりした時間と、
あたたかな人の気持ちに包まれよう。

喧騒につかれた心にじんわりと効く。
そんな、お薬みたいな1日の
はじまり、はじまり。



ゆるり、ぶらりとまち歩き。

おなかが空いたら、何か食べよう。
ふとした会話に、心もほぐれる。
満たされたら、またぶらぶらり。



コーヒーや紅茶といったドリンクで一息つくもよし。
のこのこランチなどの名物メニューに舌鼓を打つもよし。

→P21 散策マップ内 A

**歴史が育んだ風情と
高い天井に、しみじみ。**
城下町の名残を感じながら、
大手筋を一路、高取城跡へ。
左手に、昔からの米蔵を改装
したカフェがどっしりと見
えてきます。一歩入れば、蔵
独特の重厚感と開放感、どの
席に座ってもゆったりほつ
こり。見上げれば高い天井に
はり巡らされた梁の美しさ
に心和みます。



まち歩き ゆるり、

TAKATORI WALK

城下町

壱阪山の駅から、見上げる
お城に向かってゆるゆると。
昔がそのまま暮らしているような城下町。
寄り道しながら、目移りしながら歩けば、
じんわり心がほぐれてきます。

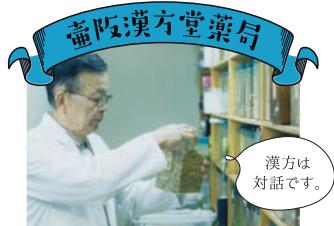


おいしい、寄り道 お豆腐屋さん

暖簾をくぐると
お豆腐屋さん。
つまんでいこか。

縁

と出会う



漢方は
対話です。

陀羅尼助丸など伝統の薬を始め、
豊富な薬剤を揃えています。

→P21 散策マップ内

高取で三代続く漢方薬局の主人がこの人・阪本さん。相談の場合、すぐに薬はくれません。顔を見て、声を聞き、話を聞いて、症状の奥にある体のゆがみに効く薬を調合するからです。そんな対話の時間すら、自分に向き合う「心くすり」なのです。大和以来の癒やしの聖地がつなげてくれるのは、つい疎かにしていた「自分とのご縁」かもしれません。

処方はまさに一期一会。
わたしのお薬、
ありますか。



豆腐の
本当のおいしさ
知ってほしい

自然な甘さの豆乳も人気。人気の豆乳プリンは期間限定。

→P21 散策マップ内

真っ暗な朝から夫婦ふたり、水と大豆と温度と格闘する。暖簾の奥に並ぶのはそんな毎日の自信作。じつとりお豆腐かりっと厚揚げ、ふんわりうす揚げ：ちょっとお行儀悪いけど、買ってすぐにかぶりついたら、自然の甘さと気持ちいい食感が。食べることって、楽しいな。お土産にする人も多いけど、売り切れ注意。

薬のまち

「薬草百科」
石畳に記される



薬のまち、高取。その街なみには石畳が敷き詰められており、あちこちに薬草の紹介タイルが埋め込まれています。もともと、高取付近の自然の中には有用な薬草が数多く育っていたことが「薬のまち」の始まり。その伝統はいまも製薬や配置薬の産業に息づいています。



観光案内所「夢創館」の蔵の一部を資料館に。薬の歴史、なつかしのパッケージなどが楽しめます。

→P21 散策マップ内 D

はたみかい
日本の薬の歴史はここから始まった!? 渡多甕井神社
770年、平城京の時代に創建された神社。緑豊かなこの周辺で朝廷の「くすりがり」が何度も行われたと伝えられています。



あわの せいは
詩情に酔う、旅情を味わう 高取出身俳人阿波野青畝の句碑

明治の俳人として有名な高浜虚子に師事。「ホトギスの4S」と称されました。「山又山山桜又山桜」「葛城の山懐に寝釈迦かな」など、飄々と目の前に詩情が浮かぶような俳句の魅力を噛みしめてみてはいかが? 町のあちこちに句碑が並び、ハイキングコースとしても人気です。

金剛力酒造

ベリー来航の数十年前から
続く地酒の酒造。高取藩の大
年寄も務めた旧家の子孫が
いまも営んでいます。

→P21 散策マップ内 E



味 わい、あれこれ

朝場製パン

給食にも採用された「高取っ子を育てたパン」。食パンは「何もつけず」食べるのが絶品だというファンも。

→P21 散策マップ内 F



足を伸ばせば

詩情に酔う、旅情を味わう 高取出身俳人阿波野青畝の句碑

明治の俳人として有名な高浜虚子に師事。「ホトギスの4S」と称されました。「山又山山桜又山桜」「葛城の山懐に寝釈迦かな」など、飄々と目の前に詩情が浮かぶような俳句の魅力を噛みしめてみてはいかが? 町のあちこちに句碑が並び、ハイキングコースとしても人気です。

武士がたたずむ



高取城の二の門が…

この寺の山門は、高取城の二の門を移築したもの。現存する高取城遺構であり、往時がしのばれます。

→P21 散策マップ内



復元された当時の姿

土佐小学校の校門として使われていた「松の門」。現在一部が復元され、児童公園に設置されています。

→P21 散策マップ内

ふと、そこからお侍さんが出てきてもおかしくないようなたたずまい。ここ、高取町でそのような感覚におそわれるのは、江戸時代から続く建物がいまも立ち並ぶだけでなく、そのほとんどが「いまも現役で使われている」生きた建物だから。植村氏の城下町として栄えたこの界隈。私有地にうつかり入らないようにさえ気をつければ、時空を超えた気分は自分のもの。はるか飛鳥時代に、都づくりのために連れてこられた高知県の人々が住み着き、故郷を懷かしんでつけたといわれる「土佐」の地名。それを受け継ぐ城下町には、さまざま歴史の痕跡が、まるで地層のように折り重なり、息づいているのです。



「なまこ壁」の美しさ

瓦を張り巡らし、漆喰で塗り固めた「なまこ壁」。美しさを愛でられる、日本でも数少ない、現存物です。

→P21 散策マップ内



藩主の下屋敷門が残る

当時の下屋敷の表門が移築されたもの。現在も医院の門として使用されています。

→P21 散策マップ内

当時の武家屋敷に、時空を超えた気分。



二服

ふわり、 天空の古城へ

The Castle of TAKATORI

高取城跡

日本三大山城のひとつ、高取城(国史跡)。
石垣がほぼ当時のまま残された威容に
どきどきしながら、天空へ。
どこまでも続く空に、ため息なんて吹き飛んでいく。

「高取城は、石垣しか残っていないのが、かえって蒼古（そうこととしていていい。」司馬遼太郎が『街道をゆく』の中でそう記した石垣がそびえ立ちます。城下町を抜け、大手筋を「登るに従つて、横あいから石墨があらわれ、さらに登れば正面に大石壁が……」。次々と威容に出会いう山登りです。道の途上の国見櫓跡からは、はるかに開ける大和平野を一望。江戸幕府が要衝の地として、「いざとなれば山頂より大砲で撃ち落とせ」と命じたのも納得の絶景です。さあ、天空の古城へ。手間と時間をかけてこそ、やっと出会える景色が、あなたを待っています。

広がる パノラマ。

登山道を歩き、国見櫓跡へ。
そこから広がる景色は大平原を一望する大パノラマです。
「奈良のまほろば眺望スポット百選」にも選ばれています。



四季の移ろい。



城のあちこちに鬱蒼と茂る木々、そしてその中に見え隠れする石塁たち。「アンコール・ワットに入った人の気持ちが...」と記した司馬遼太郎の驚きを追体験できます。また、春には桜、夏には緑、秋には紅葉...。そして冬には雪景色。四季に応じた美しさが楽しめます。

孤高に存在し続ける、
どつしおとした石塁の数々。



「日本百名城」「日本三大山城」の魅力とは。

山城の中でも群を抜く比高。
再現CGで実感しましよう。

比高とは、ふもとから本丸までの高さを指し、その差が高ければ高いほど「難攻不落」といえるでしょう。「日本三大山城」の中でも群を抜いて比高が高く446mもある高取城は、山城としては日本一ともいわれ、「日本百名城」にも選ばれています。写真は、その威容をCGで再現したもの。山頂から大砲を放てば強力な守りとなり、一方敵からは非常に攻めにくいことが容易に想像できます。



JAPAN HERITAGE
日本遺産

下るときにも見どころいっぱい!

猿石



城下町から登る大手筋と明日香村からの合流点(岡口門)に置かれています。飛鳥時代、齊明期(7世紀)の頃に作られたものと推定されていますが詳細は不明。しかし、その愛嬌ある顔と造形が想像を掻き立ててくれます。



大手筋の黒門跡近くには、水と緑豊かな公園が広がります。阿波野青畝の勾碑も公園内にあります。

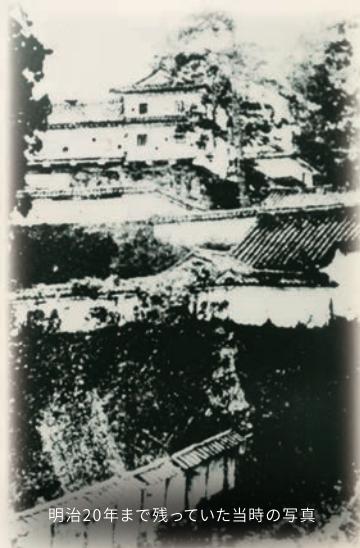


「実は“の実話」の歴史を知れば、 もつと感動、高取城

江戸幕府が高取という「要所」を住せるために選んだのは、やはり外様大名ではなく譜代の家臣。ただその道のりは山あり谷ありでした。徳川家康が家督を継ぐ以前、植村

植村氏は事情があり、一時徳川家を離れるといった歴史も持っています。帰参後、家康の「家」を名乗るほど信頼され、高取城の藩主に。その後明治維新まで存続したのです。

”実は“の実話①
実は交通の要所。
大阪城攻めの大砲を任された、
徳川家の守りの要。



明治20年まで残っていた当時の写真

”実は“の実話③
司馬遼太郎が惚れ込んだ
「重畳たる」魅力。

先に記した通り、作家の司馬遼太郎は生前、この地を訪れ、その感激を紀行集『街道をゆく』に記しています。山奥の急峻に累々と組み上げられた石壁に、「…さらに登れば正面に大石壁があらわれるといったぐわいで、まことに重畳(ちようじよう)としている」と語った魅力は、いまも高取の山上で静かにたたずんでいます。

大坂夏の陣で天守の壁を打ち破り淀君を震撼させたといわれる大砲。それが高取城に預けられたのは「薩摩や長州が近畿に攻めてきたとき」の備えのためだったといわれています。事実、幕末に天下取りの前から続く名門「植村氏」。その数奇な運命と、いまに至る伝統。

”実は“の実話②
徳川家康

氏の当主であった植村氏明は、家康の祖父の暗殺現場に遭遇、その場で仇をとったと伝えられています。さらに家康の父の暗殺現場にも遭遇し、またしても仇をとつたとえられています。

いう説も…。ですがその後の

ぶらり、ふしぎな時間

Tsubosaka Temple... Where time stops!

「寺は壇坂 笠置 法輪…」と、清少納言の枕草子に
その靈験をたたえられてから約1000年。
時を積み重ねた寺院はまるでワンダーランドのよう。
ふしぎな空間と時間に身を委ね、心を揺さぶり、ほぐしましょう。

壇 阪 寺

三服

奈良のお寺
だったはず…

数度の火災に遭いながらも
何度も復興を続けてきた壇
阪寺。明治の初めには『壇
靈験記』が淨瑠璃・歌舞伎と
なりさらに有名に。戦後は社
会福祉活動にも貢献し、国境
を越えインドにも、境内に並
ぶ巨大でオリエンタルな像
の数々は、その感謝の証なの
です。続く国際活動にいまも
像の数は増え続けています。
一方、国宝の十二面千手觀音
菩薩像などの仏像や、曼荼
羅屏風といった日本古来の
ものも多数。次々と出会う多
様な美が、あなたの心を揺さ
ぶり続けるでしょう。

インド?

ここ、
どこ?

仁王さま
の下駄、
おおきすぎ!

何持ってるの?



不思議な伝説に、
こころドキドキ

目の前の「古代」に
こころがトリップ



市尾墓山古墳(国史跡)

6世紀初めの有力豪族の墓といわれる前方後円墳。
古墳時代後期を代表する貴重な古墳です。



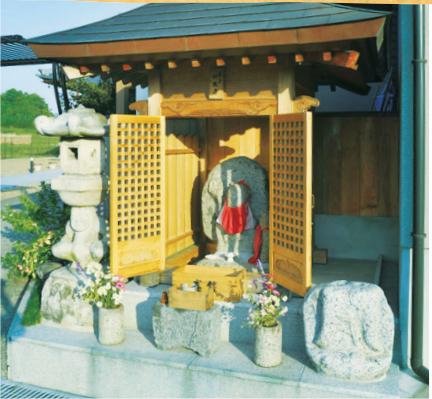
東明神古墳

非常に珍しい「八角形墳」であり、なんと「黄金比率」が使われていたといわれています。



身代わり地蔵(常楽寺)

矢を射られた村人の身代わりとなったと伝えられるお地蔵さま。いまも現存しています。



さつま腰折れ地蔵(西法寺そば)

上・下半身の二体に分かれているのが由来。
自分の患部と同じ箇所を触ると快復するとか。



四 服

もっと高取、

高取町には、ほかにも見どころがたくさん。気分や興味の向く

宗泉寺

高取藩主であった植村氏の菩提寺。隣接地には歴代の藩主の墓が莊厳に並んでいます。



齊明天皇陵

つづら折りの石段をのぼると、見えてくる御陵。
周辺の景観は、紅葉の季節も見どころです。



歴史の風情に、
こころが踊る

ぶらっと巡り

ままにあちこちへ足をのばせば、旅情がまだまだ広がります!

光雲寺

新選組隊士として函館まで戦い抜いた尾関雅次郎が眠る。巨大な杉の木が見守ります。



因光寺(大和清九郎会館)

1678(延宝6)年生まれの大和清九郎。全国にも知られた「親孝行の妙好人」の生涯を知ろう。※要予約

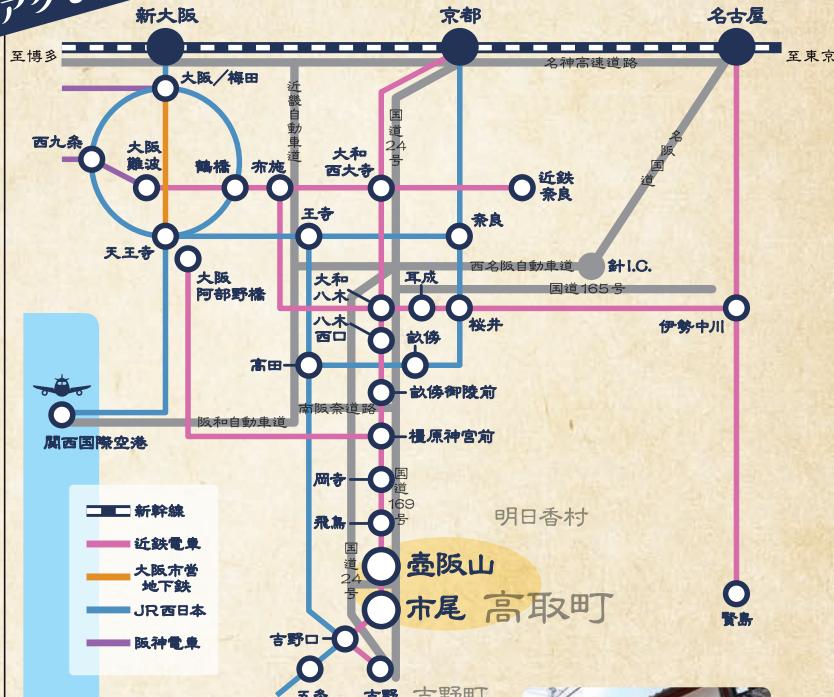


強くやさしい人々に
こころあたたまる

もっと高取、
ぶらつと巡り



アクセスマップ



お越しの際は

むそくかん
夢創館 に設定！

国 高取町上土佐20-2 0744-52-1150 木曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始・お盆



大阪阿部野橋駅から



約1時間

京都駅から



約2時間

関西国際空港から



約1時間30分

名古屋駅から



約2時間30分

高取町

T635-0154 奈良県高市郡高取町観覚寺990-1

TEL. 0744-52-3334 FAX. 0744-52-4063

<http://www.town.takatori.nara.jp/>

高取町

検索